

年 組 名 前 :

水量細かく管理、猛暑に対応

米の食味国際大会  
井上さん(北杜市)金賞



北杜市白州町白須の農業井上優さん(48)が生産したコメが、「第25回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」で「つな」の栽培別部門の「環境王国」の部で金賞に選ばれた。井上さんは猛暑となった今夏、田んぼに張る水の量を細かく管理したという。「賞を取れてうれしい」と喜んだ。(木場菜摘)



栽培別部門の「環境王国」の部で金賞に選ばれた井上優さん(中央)と、同部門の「米の精」の部で特別優秀賞を受賞した「株式会社こびと」の三井勲社長(右)、大型農業法人部門の「2023」の部で特別優秀賞の「望月農業センター」の望月茂喜代表(左)＝新潟県津南町

大会は2日に新潟県津南町で開かれ、北杜市内からは33人が約80点を出品した。コメは水分やタンパク質などの数値や、うま味を表す「味度」などで味を評価。予選を通過した約40人が国際総合部門に進む。このほか予選を通過できなかったコメを6部門13部に分け、それぞれ金賞とそれに次ぐ特別優秀賞を決める。環境王国の部は、豊かな自然環境や観光施設がある市町村のコメが対象。井上さんは気候やコメの生育状況に合わせて、肥料の量や種類を微調整したほか、日中と夜間の水の温度も考慮して「稲の気持ちになって水の管理をした」という。井上さんは「とにかく水量の調整がうまくいったと思う。来年は国際総合部門の審査に残るよう励みたい」と話した。

市内ではこのほか、「株式会社こびと」三井勲社長、同市長坂町中丸氏が栽培別部門で米ぬかの肥料を使用したコメが対象の「米の精」の部、望月農業センター望月茂喜代表、同市白州町白須氏が大型農業法人部門の「2023」の部で、いずれも金賞に次ぐ特別優秀賞に選ばれた。

来年は同大会が初めて北杜市で開催される。市の担当者は「来年の大会へ向け、弾みになる」と話し、「米どころ」としての認知度アップにつながることを期待している。

(2023年12月13日付 山梨日日新聞 19面)

問1 「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」で、北杜市の井上さんの生産したコメが、金賞に選ばれた部門と部を教えてください。

..... 部門 ..... の部

問2 コメは、どのように評価されますか。

.....

問3 井上さんが金賞に選ばれた部は、どのようなコメが対象となりますか。

.....

問4 井上さんの来年の目標を教えてください。

.....